

YOUTH MANNA

Grace Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/6/10(月)

ガラテヤ3:15-29

- 律法とは何か？
 - ①律法とはどんなものだろうか。(19、24節)
 - ②「約束を受けた子孫」とは誰のことだろうか。彼により、私達異邦人は何を受けたらう。(14節)
 - ③律法とキリストの違いを挙げてみよう。(ヘブル9:9-14)
- 私は信じたばかりの時、クリスチャンの友達に「最初からイエスがいたらよかったんじゃないの？そしたら異邦人も皆救われてたじゃん」と聞きました。皆も同じことを考えたことはあるかな？家の教会で、「なぜ、神様は“初めのもの(律法)”と“第2のもの(イエス様)”を備えておられたのか」友達と話し合ってみよう。

2024/6/11(火)

ガラテヤ4:1-20

イエス様が来られたことにより、私たちの身分はどのように変わったとパウロは言っているかな？

ガラテヤの教会の人々は、イエス様を信じる信仰によって救われた幸いを和すれてしまったかのような生き方をしていたようだね。それは神の子としての生き方ではなく、奴隷の生き方に逆戻りするようなものだった(9)。

私たちを神様の愛から目を背けさせて、不自由にさせてしまうものはどんなものがあるだろうか？私たちが神の子であることを受け取ろう！そして今日、イエス様から目を離さず歩めるように祈ろう！

2024/6/12(水)

ガラテヤ4:21-31

パウロは、アブラハムの二人の息子は、新旧の契約を表していると言っているよ(24)。→古い契約では、人の救いは律法の行いという肉の努力にかかっていた。一方、新しい契約では、救いはただ恵みの約束によって与えられている。

イエス様を信じた私たちは「約束の子」であり、「自由の子」ということを受け取ろう。私たちの内に御霊がおられるなら、その方によって律法の要求は満たされる(ローマ8:4)。だから、神様を愛すること、隣人を愛することにおいて、いつも聖霊を求めめる必要があるんだね。

今日一日を御霊によって歩めるように、祈って出ていこう！

2024/6/13(木)

ガラテヤ5:1-12

1節をもう一度読もう。イエス様が十字架にかかり、よみがえられたのは、自由を得させるためだった。だけど、当時のガラテヤの人々は割礼を受けようとして、古い契約に生きようとして、神様が得させようとしている自由から離れようとしていたんだ。

考えよう：聖書を読むこと、祈ること、礼拝をささげること、奉仕をすること、これらは大切なことだけど、これらを行うから救われているということではないんだ。6節の「愛によって働く信仰」について思い巡らそう。今神様は君に何を語っておられるだろうか？神様の愛の中にとどまろう！

2024/6/14(金)

ガラテヤ5:13-26

- 13vを読もう。召された、とはイエス様を知ったと同じ意味。それは何のためだと書いてあるかな？
- その自由を肉の働く機会としてしまうと、人はどんな風になってしまうと思う？15,19-21vにヒントが書いてあるよ。
- 13v「愛をもって互いに仕え合う」と、どんなことが起こるだろう？家族、セル、クラス、部活…きみは自分がいる場所のために、どのように役立ちたいと思う？今できる小さな愛の行動を試みよう！

2024/6/15(土)

ガラテヤ6章

私たちには教会、セルといった信仰の家族がこうして与えられているね。その家族とお互いの信仰のために仕え合う、愛し合うことが励まされている。

私たちは罪に気をつけて過ごす必要があるけど、完璧には誰1人でできない。それを1人で抱え込まず、お互いに自分自身の弱さや問題を認めて、オープンに話して祈り合おう！重荷を負い合うことができるし、神様に目を向けることができるよ。

こうして私たちが愛をもって仕え合い、良い行いをすることは、御霊に種をまくことになり、それは永遠のいのちを刈り取ることになる！今日信仰の家族にできるよいことを考えて一つやってみよう！

2024/6/16(日)

1サムエル記1章

- ハンナが苦しみを覚えていたことは何だっただろう？(2,6,7)
 - ハンナは、心を注ぎ出すように神様に祈りました(15)。その結果ハンナに何が起こっただろう？(18)。
- ここで起こった最も重大なことは、ハンナが祈りの中で自分自身を変えられていったことです。神様がハンナの胎を開きサムエルが誕生した後、ハンナは11節で神様に向かって立てた子どもを献げる誓願を果たす責任を忘れませんでした。「主は私がお願いしたとおり、私の願いをかなえてくださいました。それで私もまた、この子を主におゆだねいたします」と告白するハンナは、すべてが神様から来ることを確信して神様を礼拝しました。私達もハンナのように祈りが生み出す力を体験して、神様に信頼して生きる者となろう！